

## 発明の名称

サービス提供システム、サービス提供方法、情報提供制御システム及び情報提供制御方法

## 発明の背景

### 5      **【0001】    発明の分野**

**【0002】**    本発明は、サービス利用者（ユーザ）からの要求に基づきサービスを提供するサービス提供システム及び当該サービス提供システムにて実行されるサービス提供方法、並びに、複数業種を横断的に連携させユーザにサービス情報を提供する情報提供制御システム及び情報提供制御方法に関する。

10      **【0003】**    本願における「コミュニティ」とは、広く、所定の基準に基づいてグルーピングされる複数のユーザから成る集団をいう。「コミュニティ」としては、例えば、ある嗜好性を持った（嗜好に関して共通性を持つ）ユーザから成る集団、ある商品を所定の時期に購入したユーザから成る集団、ある商店街で所定の時期に買物をしたユーザから成る集団などが挙げられ、ユーザが自主的に結成  
15      したものと、ユーザ以外の情報提供者等が商品購入の統計情報等に基づいて設定したものの両方が含まれる。

### **【0004】    関連する背景技術**

**【0005】**    ユーザが興味のあるサービスを得る手段として、1つのサービスとそれに関連したサービスとを併せて提供すること（例えば、旅行の申込手段と  
20      旅行保険の申込手段とを同時に提供することや、フランス料理のレストランでフランス産のワインを提供すること等）は一般的に行われている。最近のインターネットを介した商取引においても、複数業種を横断的に連携させるために、1つのサービスに関するホームページを作成する際に、予めそれに関連したサービスに関するホームページへのハイパーリンクを埋め込むことが行われている。例え  
25      ば、旅行の申込をするホームページには、旅行保険の申込みのための保険会社のホームページへのハイパーリンクを埋め込むことが行われている。

【0006】 しかし、複数業種のサービスを横断的に連携させてユーザに提供する従来の方法では、サービス提供者は、予め連携する複数のサービス間の関係を URL のリンクとして用意しておく必要や、または総合的にサービスを提供する大手のサービス提供者と提携する必要があった。また、これらのリンクの用意や他のサービス提供者との提携をしても、提供可能なサービスの種類、範囲はある程度固定的なものとならざるを得ず、ユーザにとっては、提供を受けられるサービスの選択肢が限られてしまうという問題があった。

【0007】 一方、従来より、コミュニティ（所定の基準に基づいてグルーピングされる複数のユーザから成る集団）という概念が存在しており、コミュニティの中には、ネットワーク上で分散したサーバの相互接続により各々のサーバでの情報発信を連携させることで運営するものがあった。このようなコミュニティのユーザは、システムの相互接続を維持するため、予め連携する複数のシステム間の関係を URL のリンクとして用意しておく必要があり、また、総合的に情報を提供する大手の情報提供者と提携する必要があった。

【0008】 しかし、コミュニティのユーザ及び情報提供者が、システムの相互接続を維持するためのリンク情報や提携関係を構築することは極めて煩雑な作業を要するという問題があった。

【0009】 上記のような従来技術の課題を踏まえ、本発明の目的は、サービス提供者（又は情報提供者）とユーザの双方にとって、多くのサービス提供者（又は情報提供者）と連携させるために用意するリンク情報や連携関係を構築する手間を削減するとともに、ユーザに合ったタイムリーなサービス提供や情報提供を実現することにある。

#### 発明の概要

【0010】 上記目的を達成するために、本発明に係るサービス提供システムは、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提

供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を  
5 前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御手段と、前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読み出し手段と、前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する  
10 手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得手段と、前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御手段と、を備え、前記チケットは、前記商品に関する情報又は前記サービスに関する情報として、前記コードとは異なるコードを導出するための情報を含むことが可能とされ、前記検索制御手段は、前記検索により得られたチケットの中から得られる情報に基づく異なるコードの導出及び当該異なるコードに対応したチケットの検索を、前記チケット格納管理手段にさらに実行させることを特徴とする。

20 【0011】 上記サービス提供システムでは、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルが存在し、チケット格納管理手段が、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び手続きファイルの格納先情報、並びに、商品に関する情報と商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケット  
25 を格納管理している。ここで、ユーザがコード及びチケット要求によりチケットを要求すると、検索制御手段が、当該コード及びチケット要求に基づいて、当該

コードに対応したチケットの検索をチケット格納管理手段に実行させる。ここで、チケット格納管理手段が、当該コードに対応したチケットの検索を行うことで、検索結果としてチケットが得られる。

【0012】 そして、アクセス方法情報読出し手段が、検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて手続きファイルからアクセス方法情報を読み出す。また、サービス情報獲得手段が、検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得する。

【0013】 さらに、提示制御手段が、上記のチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する。これにより、ユーザは、所望のコードに対応したチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、当該チケットに含まれた手続きファイルの格納先情報に基づき読み出されたアクセス方法情報、及び当該チケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスに基づき獲得されたサービス提供内容情報を得ることができる。

【0014】 本発明では、このようなサービス提供システムにおいて、上記チケットが、商品に関する情報又はサービスに関する情報として、コードとは異なるコードを導出するための情報を含むことが可能とされ、検索制御手段は、検索により得られたチケット（ユーザが要求したコードに対応したチケット）の中から得られる情報に基づく異なるコードの導出及び当該異なるコードに対応したチケットの検索を、チケット格納管理手段にさらに実行させる。なお、「異なるコードを導出するための情報」としては、異なるコードそのものを含む場合もある。

【0015】 ここで上記同様に、チケット格納管理手段が、当該異なるコードに対応したチケットの検索を行うことで、検索結果として新たなチケットが得ら

れる。そして、アクセス方法情報読出し手段が、検索により得られた新たなチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて手続きファイルからアクセス方法情報を読み出す。また、サービス情報獲得手段が、検索により得られた新たなチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得する。さらに、提示制御手段が、上記の新たなチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する。

【0016】 このようにして、チケットに含まれた、異なるコードを導出するための情報に対応した新たなチケットが得られ、その新たなチケットの情報より、上記と同様に、新たな商品（例えば、もとの商品と連携した商品）に関する情報、新たなサービス（例えば、もとのサービスと連携したサービス）に関する情報、そのアクセス方法情報及びそのサービス提供内容情報を得ることができる。

【0017】 このように1つのチケットが、異なるコードを導出するための情報を含むよう構成することで、当該異なるコードを用いたチケットの検索、及び検索で得られた新たなチケットに含まれた新たな商品に関する情報、新たなサービスに関する情報、そのアクセス方法情報、及びそのサービス提供内容情報をユーザへ提示することが可能となる。これにより、複数のサービス提供者を連携させるために用意するべきリンク情報や提携関係を構築する従来のような手間を削減することができる。また、ユーザにとっても本発明により選択可能なサービス提供者の範囲が広がるため、従来のようにユーザ自らがインターネット上の検索エンジンを用いて自分に最適なサービス提供者を探し出す手間が削減され、ユーザの便宜を図ることができる。

【0018】 なお、本発明における「コード」には、例えば、商品を識別する

ためのコード、商品の販売場所やサービスの提供場所等の場所に関するコード、商品やサービスの内容を宣伝・紹介する動画・静止画等のイメージファイルのコード等が含まれる。

【0019】 また、本発明に係るサービス提供システムは、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、をさらに備え、前記提示制御手段は、前記要求受付手段による受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報及び前記サービス提供内容情報に基づいてサービス提供者を選択し、選択したサービス提供者に関するサービス提供内容情報及びアクセス方法情報を前記ユーザへ提示する構成とすることが望ましい。なお、ユーザ情報には、例えば、ユーザの名前や住所、趣味や嗜好、所有している物のリスト、手続きできる処理の種類、更には様々なサービス提供者へのアクセス履歴や利用履歴などの情報が含まれる。

【0020】 この場合、サービス提供システムには、ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段が存在し、要求受付手段が、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける。提示制御手段は、要求受付手段による受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報をユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報及びサービス提供内容情報に基づいてサービス提供者を選択し、選択したサービス提供者に関するサービス提供内容情報及びアクセス方法情報を前記ユーザへ提示する。

【0021】 このため、ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報とサービス提供内容情報とに基づいてサービス提供者が選択されるため、当該ユーザが興味や関心を示すと想定されるサービスのサービス提供者をより确实

に選択することができ、選択したサービス提供者に関するサービス提供内容情報及びアクセス方法情報をユーザへ提示することができる。これにより、サービス提供者としては、商品の購買者やサービスの利用者になる確率の高いユーザに対し、より確実にサービス提供内容を提示することができ、ユーザにとっては、自己の興味や関心の高い商品及びサービスに関する情報をより確実に得ることができることとなり、有用性の高いサービスの提供が実現される。

【0022】 また、本発明に係るサービス提供システムは、前記提示制御手段は、前記商品に関する情報又は前記サービスに関する情報に含まれたキーワードを検索キーとして検索エンジンでの検索を行い、検索により得られたリンク情報を前記ユーザへ提示する構成とすることが望ましい。

【0023】 この場合、チケット内の商品に関する情報又はサービスに関する情報に含まれたキーワードを検索キーとする検索エンジンでの検索が行われ、ユーザは、検索により得られたリンク情報を得ることができるので、ユーザは自分で、キーワードを検索キーとする検索エンジンでの検索を行う手間が不要となり、ユーザの負担を軽減することができる。

【0024】 ところで、上記サービス提供システムに係る発明は、以下のサービス提供方法の発明として捉えることもできる。これらの発明は、技術的思想としては同一であるため、同様の作用・効果を奏する。

【0025】 即ち、本発明に係るサービス提供方法は、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、を備えたサービス提供システムにて実行されるサービス提供方法であって、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実

行させる検索制御工程と、前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読出し工程と、前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得工程と、前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御工程とを有し、前記チケットは、前記商品に関する情報又は当該商品に関連するサービスに関する情報として、前記コードとは異なるコードを導出するための情報を含むことが可能とされ、検索制御工程では、検索により得られたチケットの中から得られる情報に基づく異なるコードの導出及び当該異なるコードに対応したチケットの検索を、チケット格納管理手段にさらに実行させることを特徴とする。なお、「異なるコードを導出するための情報」としては、異なるコードそのものを含む場合もある。

【0026】 また、本発明に係るサービス提供方法では、前記サービス提供システムが、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段とをさらに備え、前記提示制御工程では、前記要求受付手段による受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報及び前記サービス提供内容情報に基づいてサービス提供者を選択し、選択したサービス提供者に関するサービス提供内容情報及びアクセス方法情報を前記ユーザへ提示することが望ましい。

【0027】 さらに、本発明に係る情報提供制御方法では、前記提示制御工程



では、前記商品に関する情報又は前記サービスに関する情報に含まれたキーワードを検索キーとして検索エンジンでの検索を行い、検索により得られたリンク情報を前記ユーザへ提示することが望ましい。

【0028】 上記目的を達成するために、本発明に係る情報提供制御システムは、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、ユーザの嗜好情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、前記要求受付手段による受け付けにより得られたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御手段と、前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読み出し手段と、前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得手段と、前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御手段と、を備え、前記チケットは、当該チケットに含まれた情報の提示が許可されるユーザの条件を表す許可条件情報を含み、前記提示制御手段は、前記受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報と前記チケットに含

まれた許可条件情報とに基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示を許可するか否かを判断し、提示を許可する場合に当該ユーザへの提示を行うことを特徴とする。

【0029】 上記情報提供制御システムでは、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、ユーザの嗜好情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段とが存在し、チケット格納管理手段が、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び手続きファイルの格納先情報、並びに、商品に関する情報と商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理している。ここで、ユーザが、当該ユーザの識別情報とともにコード及びチケット要求によりチケットを要求すると、要求受付手段が、コード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付け、検索制御手段が、当該コード及びチケット要求に基づいて、当該コードに対応したチケットの検索をチケット格納管理手段に実行させる。なお、ユーザ情報には、例えば、ユーザの名前や住所、趣味や嗜好、所有している物のリスト、手続きできる処理の種類、更には様々なサービス提供者へのアクセス履歴や利用履歴などの情報が含まれる。

【0030】 チケット格納管理手段が、当該コードに対応したチケットの検索を行うことで、検索結果としてチケットが得られる。ここで、アクセス方法情報読出し手段が、検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出す。また、サービス情報獲得手段が、検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得する。

【0031】　そして、提示制御手段が、上記のチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する。これにより、ユーザは、所望のコードに対応したチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、当該チケットに含まれた手続きファイルの格納先情報に基づき読み出されたアクセス方法情報、及び当該チケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスに基づき獲得されたサービス提供内容情報を得ることができる。

【0032】　特に、本発明をコミュニティに適用した場合には、従来のようなリンク情報や提携関係を構築する手間を削減することができ、コミュニティの運営の円滑化を図ることができる。

【0033】　本発明では、このような情報提供制御システムにおいて、上記チケットが、当該チケットに含まれた情報の提示が許可されるユーザの条件を表す許可条件情報を含んでおり、提示制御手段は、受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報をユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報とチケットに含まれた許可条件情報とに基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示を許可するか否かを判断する。そして、提示制御手段は、提示を許可する場合に、当該チケットに含まれた情報を当該ユーザへ提示する。これにより、チケットに含まれた許可条件情報に応じて適正なユーザにのみ、当該チケットに含まれた情報が提示されることになる。

【0034】　以上のように本発明によれば、従来のリンク情報や提携関係を構築する手間を削減することができる。また、コミュニティは、一般的に、不特定多数のユーザへの情報提示を目的とせず、所定の規則の遵守を約束した特定ユーザ（即ち、コミュニティの会員）への情報提示を目的とするため、情報の内容に応じて適正なユーザにのみ情報を提示することで、情報発信者及びユーザの便宜を図ることができる。

【0035】　また、本発明に係る情報提供制御システムは、コミュニティに属

するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段と、前記サービス提供者となり当該ユーザのアクセス先アドレスの情報提供を希望する前記登録されたユーザからの、当該ユーザのユーザ情報に関連する商品に付与されたコードと当該ユーザのアクセス先アドレスとを含むチケットの登録要求を受け付け、前記チケット格納管理手段に当該チケットの登録を要求するチケット登録要求手段と、をさらに備え、前記チケット格納管理手段は、前記チケットの登録要求に基づいて、前記コードと前記アクセス先アドレスとを含む新たなチケットを登録する構成とすることが望ましい。

【0036】 この場合、ユーザ登録手段は、コミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理しており、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録する。そして、登録されたユーザが、サービス提供者となり、他のユーザへの当該ユーザのアクセス先アドレスの情報提供を希望するに至り、当該ユーザのユーザ情報に関連する商品に付与されたコードと当該ユーザのアクセス先アドレスとを含むチケットの登録を要求すると、チケット登録要求手段が、当該チケットの登録要求を受け付け、チケット格納管理手段に当該チケットの登録を要求する。チケット格納管理手段は、当該チケットの登録要求に基づいて、当該コードとアクセス先アドレスとを含む新たなチケットを登録する。これにより、この新たなチケットの情報が情報提供制御システムを利用する他のユーザに提示されるようになり、上記ユーザは、コミュニティへのユーザ登録要求を行い、チケットの登録要求を行うだけで、簡単に自己のサービス提供情報を他のユーザに提示するしくみを構築することができる。

【0037】 また、本発明に係る情報提供制御システムは、コミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段と、前記登録されたユーザからの当該ユーザのユーザ情報に関連する商品に関するチケットの情報提示要求を受け付

け、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されるように、当該ユーザのユーザ情報が当該チケットに関する許可条件情報に対応するよう前記ユーザ情報記憶手段に記憶された当該ユーザのユーザ情報を更新するユーザ情報管理手段と、をさらに備えた構成とすることが望ましい。

5      【0038】   この場合、ユーザ登録手段は、コミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理しており、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録する。そして、登録されたユーザが、当該ユーザのユーザ情報に関連する商品に関するチケットの情報提示を要求すると、ユーザ情報管理手段は、当該チケットの情報提示要求を受け付け、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されるように、当該ユーザのユーザ情報が当該チケットに関する許可条件情報に対応するようユーザ情報記憶手段に記憶された当該ユーザのユーザ情報を更新する。

15      【0039】   これにより、更新後の当該ユーザのユーザ情報と当該チケットに関する許可条件情報とに基づき、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されることとなり、以後、当該ユーザは、自己が希望したチケットに含まれた情報の提示を受けることができる。このように上記ユーザは、コミュニティへのユーザ登録要求を行い、チケットの情報提示要求を行うだけで、簡単に自己の希望するチケットの情報提示を受けることができる。

20      【0040】   ところで、上記情報提供制御システムに係る発明は、以下の情報提供制御方法の発明として捉えることもできる。これらの発明は、技術的思想としては同一であるため、同様の作用・効果を奏する。

25      【0041】   即ち、本発明に係る情報提供制御方法は、サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理

するチケット格納管理手段と、ユーザの嗜好情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、を備えた情報提供制御システムにて実行される情報提供制御方法であって、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付工程と、前記受け付けにより得られたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御工程と、前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読み出し工程と、前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得工程と、前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御工程とを有し、前記チケットは、当該チケットに含まれた情報の提示が許可されるユーザの条件を表す許可条件情報を含み、前記提示制御工程では、前記受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報と前記チケットに含まれた許可条件情報とに基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示を許可するか否かを判断し、提示を許可する場合に当該ユーザへの提示を行うことを特徴とする。

【0042】 また、本発明に係る情報提供制御方法では、前記情報提供制御システムが、コミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段をさらに備え、前記サービス提供者となり当該ユーザのアクセス先アドレスの情報提供を希望する前記登録されたユーザからの、当該ユーザのユーザ情報に関連する商

品に付与されたコードと当該ユーザのアクセス先アドレスとを含むチケットの登録要求に基づいて、前記チケット格納管理手段に当該チケットの登録を要求する登録要求工程と、前記チケット格納管理手段により、前記チケットの登録要求に基づいて、前記コードと前記アクセス先アドレスとを含む新たなチケットを登録するチケット登録工程とをさらに有することが望ましい。

【0043】 さらに、本発明に係る情報提供制御方法では、前記情報提供制御システムが、コミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段をさらに備え、前記登録されたユーザからの、当該ユーザのユーザ情報に関連する商品に関するチケットの情報提示要求に基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されるように、当該ユーザのユーザ情報が当該チケットに関する許可条件情報に対応するよう前記ユーザ情報記憶手段に記憶された当該ユーザのユーザ情報を更新するユーザ情報更新工程をさらに有することが望ましい。

#### 図面の簡単な説明

【0044】 図1は、第1実施形態におけるサービス提供システムの全体構成図である。

【0045】 図2は、IDの発行機関認定処理及びID発行処理を説明するための図である。

【0046】 図3は、ID発行機関認定処理を行わずにIDの重複を避けるID発行機関のID発行処理を説明するための図である。

【0047】 図4は、チケット管理部のチケットの登録・更新処理を説明するための図である。

【0048】 図5は、チケット管理部で行われるチケット検索処理と、手続き処理実施部で行われる手続き処理を説明するための図である。

【0049】 図6は、チケットの構造を示す図である。

【0050】 図7は、チケット登録更新処理の流れ図である。

【0051】 図8は、チケット格納部及び手続き処理実施部におけるチケット検索処理の流れ図である。

5 【0052】 図9は、検索処理の一部をネットワーク上にある検索エンジンで行う処理の流れ図である。

【0053】 図10は、サービス提供先候補抽出処理の流れ図である。

【0054】 図11Aは、ID欄にJAN490136036479が記述されたチケットの検索結果の第1の例を示す図である。

10 【0055】 図11Bは、ID欄にJAN490136036479が記述されたチケットの検索結果の第2の例を示す図である。

【0056】 図11Cは、ID欄にJAN490136036479が記述されたチケットの検索結果の第3の例を示す図である。

【0057】 図12Aは、ID欄にJAN490136036479が記述されたチケットの検索結果の第4の例を示す図である。

15 【0058】 図12Bは、図12AのチケットのObject Comments欄に記述されたLocation-ID245699をキーに検索して得られたチケットの検索結果の第1の例を示す図である。

20 【0059】 図12Cは、図12AのチケットのObject Comments欄に記述されたLocation-ID245699をキーに検索して得られたチケットの検索結果の第2の例を示す図である。

【0060】 図13は、図11の検索結果に関連する最適サービス提供先リストの例を示す図である。

【0061】 図14は、図12の検索結果に関連する最適サービス提供先リストの例を示す図である。

25 【0062】 図15は、第2実施形態における情報提供制御システムの全体構成図である。



【0063】 図16Aは、ID欄に所定のペットフードのIDが記述されたチケットの検索結果の第1の例を示す図である。

【0064】 図16Bは、ID欄に所定のペットフードのIDが記述されたチケットの検索結果の第2の例を示す図である。

5 【0065】 図16Cは、ID欄に所定のペットフードのIDが記述されたチケットの検索結果の第3の例を示す図である。

【0066】 図17Aは、会員登録前のAさんが閲覧可能なサービス提供先提示画面を示す図である。

【0067】 図17Bは、会員登録前のAさんの個人情報を示す図である。

10 【0068】 図18は、コミュニティの運営を行っているユーザ管理部におけるユーザ登録処理の流れ図である。

【0069】 図19は、会員登録に伴って登録されたチケットの一例を示す図である。

15 【0070】 図20Aは、会員登録後のAさんが閲覧可能なサービス提供先提示画面を示す図である。

【0071】 図20Bは、会員登録後のAさんの個人情報を示す図である。

【0072】 図21は、最適サービス提供先提示処理の一例を示す流れ図である。

#### 好適な実施の形態の説明

20 【0073】 以下、図面を用いて本発明の各種の実施形態を説明する。なお、以下では本発明に係る「コード」は「ID」と称する。また、チケットとは、IDに対応した商品の情報、当該商品に関連したサービス提供に係わるサービス提供者のアドレス、アクセス方法、サービス種別等が記述された情報であり、詳細は図6を用いて後述する。

25 【0074】 [第1実施形態]  
[サービス提供システムの構成]

図1には、第1実施形態に係るサービス提供システムの全体構成を示す。この図1に示すように、第1実施形態に係るサービス提供システムは、ネットワーク120に接続された又は接続可能とされた以下の構成要素により構成される。即ち、サービス提供システムは、サービス提供を受けるユーザのパーソナルコンピュータ（PC）、携帯用情報端末（Personal Digital Assistant：PDA）、携帯電話などの端末100と、IDが付与される物に対して新たにID発行依頼を行うID発行依頼者（例えば、新しい商品の開発や製造を行う業者や購入などで商品を手に入れた者等）102と、ID発行を行うID発行機関のグループ103と、チケット登録依頼するチケット登録者104と、チケットの格納管理や検索を行うチケット管理部105と、サービスを仲介してユーザにサービス提供者の候補を提示するとともに、それに係る手続きを代行する手続き処理実施部106と、手続きファイル107と、販売や修理や情報提供などをネットワークを介して行うサービスを提供するサービス提供者108と、個人情報109と、検索エンジン110とを含んで構成されている。

【0075】 このうちID発行機関のグループ103は、ID発行を行う機関のグループ103の全体的ID発行規則の管理運営を行うID発行管理機関1031と、ID発行管理機関1031から与えられたID発行規則に基づきIDを発行する複数のID発行機関1032、1033とを含んで構成されている。

【0076】 チケット管理部105は、チケット管理部105へのチケット登録要求の受信や検索結果の送信等を行う送受信部1051と、チケット蓄積する巨大なデータベースである格納部1052と、チケットの検索を行う検索部1053とを含んで構成されている。

【0077】 手続き処理実施部106は、IDに基づくチケット検索結果（複数のチケット）からユーザが求め且つユーザが手続き可能なサービス提供者に関するチケットを選択するチケットフィルタリング部1061と、チケットに記述された手続きファイル格納先（即ち、サービス提供者へのアクセス方法情報に関

する手続きファイル107の格納先情報（サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタともいう）からチケットの手続きファイルを読み出す手続きファイル読み出し部1063と、手続き処理に基づいて手続きを指示する手続き処理指示部1062とを含んで構成されている。

5      【0078】    手続きファイル107は、手続きに用いるプロトコルや必須な情報（例えば自動車業界が定めたプロトコルである場合、インターネットで一般的に用いられている暗号通信方式や、独自の手続きプロトコル、また手続きに必要な情報の種類に関する情報）が記述されたファイルであり、ネットワーク120を介して誰でも参照できるように公開されている。これによって、新たにサービスを提供するものは、公開されている様々な手続き処理の中から、最適な手続き処理を選び、その手続きファイルの格納先をチケットに記述するだけで利用することが可能になる。なお、手続きファイル107は、セキュリティを確保するため必要に応じて、情報を要求する者の認証を行い、参照を適宜制限する措置をとることも可能とされている。

10      【0079】    なお、後述の処理で用いられる個人情報109には、名前や住所、趣味や嗜好、所有している物のリスト、手続きできる処理の種類、更には様々なサービス提供者へのアクセス履歴や利用履歴などの情報が含まれており、この個人情報109は、ユーザが端末100に保有してもよいし、ネットワーク内にWebページのような形式で保有してもよいし、サービス提供者を紹介し手続きを仲介する手続き処理実施部106にあってもよい。

20      【0080】    また、IDを付与された物101は、数字や文字の組合せでできたコードをバーコードや二次元バーコードやRF-IDや赤外タグなどでIDを付与された物（ビンや紙などの物理的な物体や音声ファイルやイメージファイルのような電子的な物体）により構成される。

25      【0081】    [サービス提供に係る各種の処理]

以下、上記サービス提供システムにて実行されるサービス提供に係る各種の処

理を説明する。

【0082】 [IDの発行機関認定処理及びID発行処理]

図2には、IDの発行機関認定処理及びID発行処理を示す。この図2に示すように、ID発行機関の認定申請を希望する機関は、ID発行管理機関1031にID発行機関になることを認定申請する。ID発行管理機関1031は、申請のあった機関が、充分ID発行管理機関1031が定めたID発行規則やその他の規則を守れるか否かを審査し、その条件を満たすとき、申請のあった機関をID発行機関として認定するとともに、申請のあった機関が発行可能なIDの発行規則を通知する。IDの発行規則の具体例としては、「ID発行機関Aが付与するIDには必ず頭にJANという文字列を付与する」とか、「ID発行機関Bが付与するIDには必ず頭にISBNという文字列を付与する」等が挙げられる。

【0083】 認定されたID発行機関1032、1033等は、ID発行依頼者102から、IDの発行依頼を受けた時、ID発行依頼者102の名前やアドレスや信頼性を審査（チェック）し、所定の条件を満たす場合にID発行管理機関1031の定めたID発行規則に従いIDを発行し、そのIDをID発行依頼者102に通知する。このような発行規則を守ることで、同じIDが重複して存在することを防ぐことが可能となるとともに、従来からある様々なID体系を、重複しないコード体系として管理することが可能となる。

【0084】 図3は、ID発行機関認定処理を行わずにIDの重複を避けるID発行処理を説明する図である。この図3に示すように、まず、ID発行機関1032等は、ID発行依頼者102からID発行依頼を受ける都度、ID発行管理機関1031にID発行依頼を行う。ID発行管理機関1031は、ID発行依頼を行ったID発行機関1032等が、ID発行管理機関1031が定めたID発行規則やその他の規則を守れるか否かを審査し、その条件を満たすとき、ID発行依頼を行ったID発行機関1032等に新規IDを発行し、そのIDを通知する。通知を受けたID発行機関1032等は、そのIDをID発行依頼者1

02に通知し、これにより、ID発行依頼者102は、そのIDを得ることができる。

【0085】 なお、図3で説明したID発行管理機関1031は、全てのID発行を管理運営することが可能な場合に、個別のID発行依頼に対応する形態であり、実質的には当該ID発行管理機関1031がIDを発行する形態である。

【0086】 [チケットの登録・更新処理]

図4は、チケット管理部105によるチケットの登録・更新処理を説明する図である。この図4に示すように、チケット管理部105は、チケット登録者104から、チケット登録依頼を受信する。チケット登録依頼は、一般的にはIDが付与された物（商品）に関するサービスを提供する者（具体的には、ワイン製造者が付与したID=1224のワインを取り扱う輸入代理店）が行うと考えられる。ただし、チケットを第三者的に代行業者（例えば、先の輸入代理店から委託された販売促進企画請負業社）が登録しても良い。チケット登録者104は、チケット管理部105にID、チケット、登録者情報（例えば名称、ネットワーク上のアドレス等）、チケットの内容を更新する場合には、前回チケットを登録した際に受けたチケットの識別番号（以下「チケットID」という）を送信する。送受信部1051は、受信した登録者情報を審査し、条件を満たす場合には、チケットを格納部1052に格納する。格納部1052は、チケットの内容をチェックし、チケットの形式が正しいか、チケットに記載されている内容に間違いが無いか等をチェックする。そして問題が無い場合に、チケットを格納部1052内に蓄積する。そして、格納部1052は、チケットを格納完了した旨のチケット格納完了通知と、格納したチケットのチケットIDとをチケット登録者104へ送信する。このチケットIDは、チケットの内容が変わり更新するときに再度利用される。

【0087】 [チケット検索処理及び手続き処理]

次に、図5を用いて、チケット管理部105で行われるチケット検索処理と、

手続き処理実施部 106 で行われる手続き処理とを説明する。なお、個別の処理の流れについては、図 8、図 9、図 10 を用いて後述する。

【0088】 まず、ID が付与された物 101 から ID を取得したユーザ 100 は、その ID、サービス提供に必要なチケット要求(最適サービス提供先要求)、及びユーザ情報を手続き処理実施部 106 の手続き処理指示部 1062 に送信する。手続き処理指示部 1062 は「受信した ID が何か?」、また「ID に関連するサービスはどんなものがあるか?」を検索するため、チケット管理部 105 の送受信部 1051 に対し ID とチケット要求と要求者情報(手続き処理指示部 1062 を含む手続き処理実施部 106 に関する情報)とを送信する。

【0089】 送受信部 1051 は、ID とチケット要求と要求者情報を受信して、要求者情報をチェックし、問題が無い場合には ID とチケット要求を検索部 1053 に送信する。検索部 1053 は、受け取ったチケット要求の内容に、矛盾等の問題が無いかをチェックし、問題が無い場合に格納部 1052 に ID とチケット検索要求を送信する。格納部 1052 は、受け取った ID とチケット検索要求に基づきチケットの検索処理を行い、検索で得られたチケットの有効期限をチェックし、有効期限を満たすチケット全てを検索結果として送受信部 1051 に渡す。検索結果としてのチケットは、手続きファイル読み出し部 1063 に渡される。

【0090】 手続きファイル読み出し部 1063 は、受け取ったチケットの各々について、当該チケットに記述された手続きファイル格納先情報に基づいて手続きファイル 107 から手続き情報を読み出し手続き処理指示部 1062 に送信する。そして、手続き処理指示部 1062 は、チケット要求を行ったユーザ 100 に関する個人情報 109 及び手続き情報に基づいて、当該ユーザ 100 が手続き可能か否かを、各チケットについて判断することで、受け取ったチケットから手続き可能なチケットのみを選択する手続き可不可チェックを行う。

【0091】 手続き可能と判断されたチケットについては、手続き処理指示部

1062は、サービス提供者108に対して、サービス提供内容詳細問合せ要求を行い、サービス提供詳細内容情報（例えば「フランスワイン販売、問合せID、商品の販売価格は4500円、納品は商品つき次第で約2ヶ月後納品の見込み」等の情報）を、当該サービスに関する手続きファイル107に格納されたアクセス方法に従って獲得する。

【0092】 上記の手続き処理実施部106が行った「チケット管理部105の送受信部1051にIDとチケット要求と要求者情報とを送信して、サービス提供者108に対して、サービス提供内容詳細問合せ要求を行い、サービス提供詳細内容情報を受信する」処理をサービス提供先候補抽出処理501という。このサービス提供先候補抽出処理501は、受信したチケットに記述された情報（ID、商品に関するコメント、サービスに関するコメント等）に基づき繰り返し実行することで、手続き処理指示部1062が獲得するチケット数を増やすことが可能となる。なお、具体的な処理フローは図8及び図9を用いて後述する。

【0093】 その後、チケットフィルタリング部1061は、手続き処理指示部1062からチケットを受信し、個人情報109に基づいて、受け取ったチケットの中からユーザが求めているサービス提供先選択候補を絞り込む。例えば、ワインのIDでの検索されたチケットについて、今回要求されたユーザの個人情報に「東京在住」、「趣味が海外旅行」との情報が含まれている場合には、海外旅行に関するチケットや東京在圏のサービス提供者に関するチケットを優先的に上位の候補にする。そして、チケットフィルタリング部1061は、その選択された最適サービス提供先の候補をユーザ100に提示する。ユーザ100は、求めているサービスがある場合には、そのサービスのサービス提供者108を選択し、サービス処理実施要求を当該サービス提供者108に行う。そして、ユーザ100とサービス提供者108の間で、ユーザ認証等のサービス提供を行う上で必要な契約確認処理が行われ、ユーザ100はサービスの提供を受ける。

【0094】 [チケットの構造]

ここで、図6を用いてチケットの構造を説明する。チケットには以下の(1)～(13)の情報が含まれている。

【0095】 即ち、(1) I Dが付与された物であることを特定する数字文字の列であるI D。(2) I Dに関連した情報やサービスを提供するサービス提供者の接続先(サービス提供先(サービスエンティティポインタ):例えばネットワーク上のIPアドレスやURL等)。(3) サービスに接続するためのアクセス方法が記されたサービス手続き情報が格納されている先(サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタ:例えばネットワーク上のIPアドレス、URL、ファイル名等)。(4) チケット種別。具体的な例としては、例えば、I Dが付与されものが何であるかを示すI D発行依頼者しか発行できないチケットを示す「primary (プライマリ)」と、その物に関連したサービスを提供するために発行した「secondary (セカンダリ)」などがある。(5) I Dが付与された物がどのような物かを分類する情報であるオブジェクトカテゴリー (Object Category)。(6) I Dが付与された物がどこにあるかを意味する情報であるオブジェクトロケーション (Object Location)。(7) I Dが付与された物に関する様々な情報が記載されるオブジェクトコメント (Object Comments)。(8) I Dが付与された物に関連するサービス提供がどのようなサービスに分類するかを示す情報であるサービスカテゴリー (Service Category)。(9) I Dが付与された物に関連するサービス提供がどのような場所や地域で行われているかを示す情報であるサービスロケーション (Service Location)。(10) I Dが付与された物に関連するサービス提供に関する様々な情報が記載されるサービスコメント (Service Comments)。(11) チケットの登録者に関する情報。(12) チケットの登録されている有効期限。(13) チケット検索して閲覧できる検索者を示すパーミッション情報。

【0096】 チケットに記載されたこれらの情報において、(2)(3)の情報は、様々なサービスに対応できるようにポインタしか持たない構造を持っていることが特徴であり、(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)の情報は、柔軟な検索を可能として、様々



なサービスを創造できる構造を持っていることが特徴である。また、(11)(12)の情報はチケットの有効性を確保するための最低限の構造を持っていることが特徴であり、(13)の情報は情報公開の制限を可能とするための構造を持っていることが特徴である。(1)(2)(3)(4)(11)(12)の情報については情報の記述が必須であるが、その他の情報に関しては記述があっても無くても構わない。情報の記述が無い場合は「NULL」と表記する。

【0097】 [チケット登録更新処理の流れ]

次に、図7を用いて、上記のようなチケットを登録更新するためのチケット登録更新処理の流れを説明する。

【0098】 まず、チケット管理部105は、ID、チケット本体、チケットID(初めての登録の場合はNULL)、登録者情報を受信し(図7のS11)、受信したチケット登録者情報を基にチケット登録者の信頼性を評価する(S12)。ここでの信頼性評価には様々な方法を用いることができ、例えば、アカウントとパスワードを用いる方法、時間変化でパスワードを変更する方法、問合せのあったメールアドレスにパスワードを通知する方法等、そのいずれかまたは複数を組み合わせてチケット登録者を評価する。

【0099】 S12で信頼できないと判断した場合には、受信したチケットを破棄し(S18)、登録要求元にチケット格納を失敗した旨を通知して(S19)、処理を終了する。一方、S12で信頼できると判断した場合には、次に、チケットの内容が正しいか否かを判断する(S13)。ここでのチケットの内容が正しいか否かを判断する処理は、チケットの構造が規定の構造に合っているか、チケットの記載されるべき必須項目が記載されているか等をチェックすることで行う。

【0100】 S13でチケットの内容が正しくない場合には、受信したチケットを破棄し(S18)、登録要求元にチケット格納を失敗した旨を通知して(S19)、処理を終了する。一方、S13でチケットの内容が正しい場合には、同じIDかつチケットIDかつ同じ登録者情報であるチケットが既にチケット管理部1

05に格納されているか否かを判断する処理（チケットIDチェック処理）を行う（S14）。これによりチケットの登録かチケットの更新かを判断する。

【0101】 S14で同じIDかつチケットIDかつ同じ登録者情報であるチケットがチケット管理部105に格納されていない場合には、チケットの登録であると判断し、格納部1052にチケットを蓄積する（S16）。そして、チケットの格納が完了した旨の通知と格納したチケットに関するチケットIDとをチケット登録者104（またはチケット更新者）に通知して（S17）、処理を終了する。

【0102】 一方、S14で同じIDかつチケットIDかつ同じ登録者情報であるチケットがチケット管理部105に格納されている場合には、チケットの更新であると判断し、既に格納されているチケットに、受信した新たなチケットを上書きして蓄積する（S15）。そして、チケットの格納が完了した旨の通知と格納したチケットに関するチケットIDとをチケット登録者104（またはチケット更新者）に通知して（S17）、処理を終了する。なお、この際、同一ID、全てのチケットの項目が同一であるチケットがあるか否かを判断し、全く同じチケットがあった場合には、チケットを格納しない方が、データベースの格納容量を有効に利用するためには有効である。

#### 【0103】 [チケット検索処理の流れ]

次に、図8を用いて、チケット格納部及び手続き処理実施部におけるチケット検索処理の流れを説明する。なお、ここでは、処理の主体については図5により前述したため、チケットフィルタリング部1061等ではなく、手続き処理実施部106又はチケット管理部105で総称的に表すものとする。

【0104】 まず、手続き処理実施部106は、ユーザ100からID、チケット要求、ユーザ情報を受信する（図8のS31）。そして、手続き処理実施部106は、ユーザ情報が正しいか否かの判断処理を行う（S32）。ユーザ情報が正しくないと判断した場合には直ちに処理を中断し、ユーザに処理が中断した旨を

通知して（不図示）、処理を終了する。

【0105】 一方、S32でユーザ情報が正しいと判断した場合には、図5のサービス提供先候補抽出処理501を実行回数を表す回数Nをゼロ「0」にリセットし（S33）、ID、チケット要求、要求者情報をチケット管理部105へ送信する（S34）。そして、回数Nに1を加え（S35）、サービス提供先候補抽出処理501を行う（S36）。なお、サービス提供先候補抽出処理501については図10を用いて詳細に説明する。サービス提供先候補抽出処理501を終え、IDにより検索したチケットとそのチケットに関するサービス提供内容詳細情報を受信する（S37）。

【0106】 そして、受信したチケットの Object Comments と Service Comments の項目にIDが記述されているか否かを判断する（S38）。IDが記述されていない場合には、個人情報参照処理を行う（S41）。IDが記述されていた場合には、回数Nが、予め定めたサービス提供先候補抽出処理501の実施回数制限数 $\alpha$ 未満であるか否かを判断する（S39）。回数Nが実施回数制限数 $\alpha$ より大きい又は等しい場合には個人情報参照処理を行う（S41）。一方、回数Nが実施回数制限数 $\alpha$ 未満である場合には、チケットに記述されたIDを検索対象のIDとし（S40）、再びID、チケット要求、要求者情報をチケット管理部105に送信する（S34）。このように検索対象のIDを置き換えて再びチケットを検索する処理を繰り返すことで、様々なサービス提供者に連携した横断的なサービス提供が可能となる。

【0107】 S41での個人情報参照処理では、個人情報109から、ユーザの状況及びユーザの嗜好、購買傾向、サービスの利用傾向等の個人情報が参照される。そして、個人情報を基に、ユーザに最適なサービス提供先選択処理が実施され（S42）、選択されたサービス提供先の候補は、ユーザの端末に通知される最適サービス提供先提示処理を行う（S43）。

【0108】 その後、ユーザは、提示されたサービス提供先からサービス提供

先を選択するか否かを判断し、選択する場合、サービス処理実施要求を送信する。  
このため、S 4 4では、ユーザからのサービス処理実施要求を受信したか否かにより、サービス提供先が選択されたか否かを判断する。ここで、選択されなかった場合には、直ちに処理を中断し、ユーザに処理が中断した旨を通知して（不図示）、処理を終了する。

【0 1 0 9】 一方、ユーザからのサービス処理実施要求を受信しサービス提供先が選択されたと判断した場合には、選択されたサービス提供先と接続して（S 4 5）、処理を終了する。これにより、サービス提供先からユーザへサービスが提供されることとなる。

【0 1 1 0】 次に、図 8 の変形態様として、検索処理の一部をネットワーク上にある検索エンジン 1 1 0で行う処理の流れを図 9 に基づき説明する。検索エンジン 1 1 0を使う本処理は、検索結果であるチケット数が少ない場合などに効果的な処理である。

【0 1 1 1】 まず、手続き処理実施部 1 0 6は、ユーザ 1 0 0から ID、チケット要求、ユーザ情報を受信する（図 9 の S 5 1）。そして、手続き処理実施部 1 0 6は、ユーザ情報が正しいか否かの判断処理を行う（S 5 2）。ユーザ情報が正しくないと判断した場合には直ちに処理を中断し、ユーザに処理が中断した旨を通知して（不図示）、処理を終了する。

【0 1 1 2】 一方、S 5 2でユーザ情報が正しいと判断した場合には、ID、チケット要求、要求者情報をチケット管理部 1 0 5へ送信し（S 5 3）、サービス提供先候補抽出処理 5 0 1を行う（S 5 4）。なお、サービス提供先候補抽出処理 5 0 1については図 1 0を用いて詳細に説明する。サービス提供先候補抽出処理 5 0 1を終え、IDにより検索したチケットとそのチケットに関するサービス提供内容詳細情報を受信する（S 5 5）。

【0 1 1 3】 そして、受信したチケットの Object Comments と Service Comments の項目に記述されたコメントを検索キーとして、検索エンジン 1 1 0での検索を

行い（S 5 6）、個人情報参照処理を行う（S 5 7）。S 5 7では、個人情報 1 0 9 から、ユーザの状況及びユーザの嗜好、購買傾向、サービスの利用傾向等の個人情報参照される。そして、個人情報を基に、ユーザに最適なサービス提供先選択処理を実施する（S 5 8）。

5      【0 1 1 4】   ここで選択されたチケットについて、チケットの Object Comments と Service Comments の項目に記述されたコメントを検索キーとして、検索エンジン 1 1 0 での検索を行う（S 5 9）。このように、サービス提供先のハイパーリンクの精度をユーザの求めるものに近づけるには、選択されたチケットに対して行う方が効果的である。そして、S 5 8 で選択されたサービス提供先の候補と、検索エンジン 1 1 0 での検索で得られたハイパーリンクとをユーザの端末に提示する（S 6 0）。

15      【0 1 1 5】   その後、ユーザは、提示されたサービス提供先からサービス提供先を選択するか否かを判断し、選択する場合、サービス処理実施要求を送信する。このため、S 6 1 では、ユーザからのサービス処理実施要求を受信したか否かにより、サービス提供先が選択されたか否かを判断する。ここで、選択されなかった場合には、直ちに処理を中断し、ユーザに処理が中断した旨を通知して（不図示）、処理を終了する。

20      【0 1 1 6】   一方、ユーザからのサービス処理実施要求を受信しサービス提供先が選択されたと判断した場合には、選択されたサービス提供先と接続する（S 6 2）。これにより、サービス提供先からユーザへサービスが提供されることとなる。

25      【0 1 1 7】   このようにして、チケットの検索数が少ない場合などには、検索エンジン 1 1 0 を有効に使うことで、チケットが登録されていないサービスをもサービス提供先の候補として検出し、抽出することが可能となる。

25      【0 1 1 8】   [サービス提供先候補抽出処理の流れ]

次に、図 1 0 を用いて、サービス提供先候補抽出処理の流れを説明する。

【0119】 手続き処理実施部106にある手続き処理指示部1062は、ID、チケット要求、要求者情報をチケット管理部105に送信する。この際、ユーザが要求しているサービス種別が既知の場合には、そのサービス種別をチケット管理部105に送信することで、チケットの検索結果の絞込みを予め行うことが可能となる。

【0120】 チケット管理部105の送受信部1051は、手続き処理指示部1062からのID、チケット要求、要求者情報を受信し（図10のS71）、要求者情報が正しいか否かを判断する（S72）。ここで要求者情報が正しくないと判断した場合、直ちに処理を中断するとともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部106に通知して（不図示）、処理を終了する。

【0121】 一方、要求者情報が正しいと判断した場合には、IDとチケット要求を検索部1053に送信する（S73）。検索部1053は、受け取ったチケット要求に矛盾等の問題が無いかをチェックすることで、当該チケットの内容が正しいか否かを判断する（S74）。チケットの内容が正しくない場合には、直ちに処理を中断するとともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部106に通知して（不図示）、処理を終了する。

【0122】 チケットの内容が正しい場合には、検索部1053は格納部1052に対しIDとチケット検索要求を送信する。格納部1052は、受け取ったチケット検索要求に基づきチケットの検索処理を行う（S75）。予めユーザが要求しているサービス種別が検索キーとして指定されている場合には、そのサービス種別情報に基づくフィルタリング検索を行い、チケット抽出処理を行う（S76）。

【0123】 そして、検索により得られたチケットがあるか否かを判断し（S77）、チケットが無かった場合には、直ちに処理を中断するとともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部に通知して（不図示）、処理を終了する。一方、チケットがあった場合には、そのチケットの有効期限等をチェックする処

理を行い（S 7 8）、有効期限を満たすチケット全てを、検索結果として送受信部  
1 0 5 1 から手続きファイル読み出し部 1 0 6 3 に渡す。

【0 1 2 4】 手続きファイル読み出し部 1 0 6 3 は、受け取ったチケット 1 つ  
1 つを読み出す処理を行い（S 7 9）、そして手続きファイル読み出し処理を行う  
5 ことで（S 8 0）、その手続き情報を取得する。そして、手続きファイル読み出し  
処理を未処理の次のチケットがあるか否かを判断し（S 8 1）、未処理のチケット  
がある場合には、再び読み出し処理（S 7 9）、手続きファイル読み出し処理（S  
8 0）を行う。

【0 1 2 5】 次のチケットが無い場合（全てのチケットの手続きファイルを読  
10 み出し終えた場合）は、手続き処理実施部 1 0 6 において、チケット要求を行っ  
たユーザ 1 0 0 が手続き可能か否かを個人情報 1 0 9 に基づいて判断することで、  
手続き可能なチケットのみを選択する（ユーザが利用可能な手続き処理のチケッ  
ト選択処理を行う）（S 8 2）。

【0 1 2 6】 そして、ユーザが手続き可能なチケットがあるか否かを判断し（S  
15 8 3）、手続き可能なチケットがないと判断した場合には、直ちに処理を中断する  
とともに処理が中断した旨を、要求者である手続き処理実施部 1 0 6 に通知して  
（不図示）、処理を終了する。

【0 1 2 7】 一方、S 8 3 で、手続き可能なチケットがある場合には、チケッ  
ト 1 つ 1 つを読み出す処理を行い（S 8 4）、サービス提供内容詳細問合せ処理を  
20 行う（S 8 5）。そして、サービス提供内容詳細問合せ処理を未処理の次のチケッ  
トがあるか否かを判断し（S 8 6）、未処理のチケットがある場合には、再びチケ  
ット読み出し処理（S 8 4）、サービス提供内容詳細問合せ処理を行う（S 8 5）。

【0 1 2 8】 次のチケットが無い場合（全てのチケットのサービス提供内容詳  
25 細問合せ処理を終えた場合）、各々のチケットとチケットに関するサービス提供内  
容詳細情報とを処理の結果として処理を終える。

【0 1 2 9】 [処理の例の説明]

次に、図 1 1 ～図 1 4 を用いて、処理の例を説明する。

【0 1 3 0】 ここで、チケット管理部 1 0 5 に、ワイン（ID は JAN490136036479）に関するチケットが 3 つ登録されているとする。

5 【0 1 3 1】 ユーザ 1 0 0 が、ID として JAN490136036479 が付与された物（ワイン） 1 0 1 を見て、ID が JAN490136036479 であるチケットのチケット要求を  
すると、前述のチケット検索処理により、図 1 1 A ～図 1 1 C の 3 つのチケット  
が検索結果として得られる。

10 【0 1 3 2】 図 1 1 A ～図 1 1 C に示すように、3 つ全てのチケットの ID 欄  
には JAN490136036479 が記述されている。手続き処理実施部 1 0 6 は、これらの  
チケットからチケット種別、サービス種別を参照して、ユーザ 1 0 0 に適したサ  
ービスを提供するため、最適サービス提供先提示処理を実施する。

15 【0 1 3 3】 図 1 3 には、ユーザ 1 0 0 の端末に表示された最適サービス提供  
先リストの一例を示す。この例では、要求した ID（JAN490136036479）に関する  
情報として、図 1 1 A に示すプライマリチケットに記載された情報とともに、ID  
に関連したサービスとして図 1 1 B、図 1 1 C に示す 2 つのセカンダリチケッ  
トに記載された情報も提示されている。

20 【0 1 3 4】 即ち、図 1 3 には、検索 ID と、図 1 1 A のプライマリチケット  
の Object Category の情報及び Object Comments の情報と、図 1 1 B のセカンダ  
リチケットのサービスエンティティポインタ情報と、図 1 1 C に示すセカンダリ  
チケットのサービスエンティティポインタ情報及び Service Comments の情報とが  
示されている。

25 【0 1 3 5】 このように ID に関連したサービスを提供するサービス提供者が、  
ID に関連するサービスとしてチケットに登録するだけで、サービス提供者の連  
携を実現することが可能となり、サービス提供者が予め用意するリンク情報や提  
携関係を構築する手間を削減することが可能である。また、ユーザにとって絶え  
ず動的に変化し、選択できるサービス提供者の範囲を広げることが可能である。



【0136】 次に、チケット管理部105に、ワイン（IDは JAN490136036479）に関するチケット1つと、地名（IDは Location-ID245699）に関連したチケット2つが登録されているケースを想定する。

【0137】 ユーザ100が、IDとして JAN490136036479 が付与された物（ワイン）101を見て、IDが JAN490136036479 であるチケットのチケット要求をすると、前述のチケット検索処理により、図12Aのチケット（ID欄が JAN490136036479 のチケット）が得られる。この図12Aのチケットの Object Comments 欄には、IDとしてワインの産地を示す Location-ID245699 が記述されている。そのため、手続き処理実施部106が行う検索処理にて、図12Aのチケットに加え、図12B、図12Cのチケットもさらに選択される。手続き処理実施部106は、これらのチケットからチケット種別、サービス種別を参照して、ユーザ100に適したサービスを提供するため、最適サービス提供先提示処理を実施する。

【0138】 図14には、ユーザ100の端末に表示された最適サービス提供先リストの一例を示す。この例では、要求したID（JAN490136036479）に関する情報として、図12Aに示すプライマリチケットに記載された情報とともに、IDに関連したサービスとして図12Cに示すチケットに記載された情報も提示されている。ここでは、ユーザ100の個人情報109に基づき、図12B、図12Cの2つのチケットのうち、図12Cに示すチケットのみが選択されている。

【0139】 即ち、図14には、検索IDと、図12Aのプライマリチケットの Object Category の情報及び Object Comments の情報と、図12Cに示すセカンダリチケットのサービスエンティティポインタ情報及び Service Comments の情報とが示されている。

【0140】 このように第1実施形態によれば、IDに関連したIDをチケットに登録するだけで、サービス提供者の連携を実現することができ、サービス提供者が予め用意するリンク情報や提携関係を構築する手間を削減することができ

る。また、ユーザにとって絶えず動的に変化し、選択できるサービス提供者の範囲を広げることができる。

#### 【0141】 [第2実施形態]

##### [情報提供制御システムの構成]

図15には、第2実施形態に係る情報提供制御システムの全体構成を示す。この図15に示すように、第2実施形態に係る情報提供制御システムは、ネットワーク120に接続された又は接続可能とされた以下の構成要素により構成される。即ち、情報提供制御システムは、サービス提供を受けるユーザのパーソナルコンピュータ（PC）、携帯用情報端末（Personal Digital Assistant：PDA）、携帯電話などの端末100と、IDが付与される物に対して新たにID発行依頼を行うID発行依頼者（例えば、新しい商品の開発や製造を行う業者や購入などで商品を手に入れた者等）102と、ID発行を行うID発行機関のグループ103と、チケット登録依頼するチケット登録者104と、チケットの格納管理や検索を行うチケット管理部105と、サービスを仲介してユーザにサービス提供者の候補を提示するとともに、それに係る手続きを代行する手続き処理実施部106と、手続きファイル107と、販売や修理や情報提供などをネットワークを介して行うサービスを提供するサービス提供者108と、個人情報109と、コミュニティを運営するユーザ管理部110と、個人が情報発信するWebページ121、122、123とを含んで構成されている。

【0142】 このうちID発行機関のグループ103は、ID発行を行う機関のグループ103の全体的ID発行規則の管理運営を行うID発行管理機関1031と、ID発行管理機関1031から与えられたID発行規則に基づきIDを発行する複数のID発行機関1032、1033とを含んで構成されている。

【0143】 チケット管理部105は、チケット管理部105へのチケット登録要求の受信や検索結果の送信等を行う送受信部1051と、チケット蓄積する巨大なデータベースである格納部1052と、チケットの検索を行う検索部10

5 3 とを含んで構成されている。

5      【0144】 手続き処理実施部106は、IDに基づくチケット検索結果（複数のチケット）からユーザが求め且つユーザが手続き可能なサービス提供者に関するチケットを選択するチケットフィルタリング部1061と、チケットに記述された手続きファイル格納先（即ち、サービス提供者へのアクセス方法情報に関する手続きファイル107の格納先情報（サービスエンティティアクセスプロトコル格納先ポインタともいう））からチケットの手続きファイルを読み出す手続きファイル読み出し部1063と、手続き処理に基づいて手続きを指示する手続き処理指示部1062とを含んで構成されている。

10      【0145】 手続きファイル107は、手続きに用いるプロトコルや必須な情報（例えば自動車業界が定めたプロトコルである場合、インターネットで一般的に用いられている暗号通信方式や、独自の手続きプロトコル、また手続きに必要な情報の種類に関する情報）が記述されたファイルであり、ネットワーク120を介して誰でも参照できるように公開されている。これによって、新たにサービスを提供するものは、公開されている様々な手続き処理の中から、最適な手続き処理を選び、その手続きファイルの格納先をチケットに記述するだけで利用することが可能になる。なお、手続きファイル107は、セキュリティを確保するため必要に応じて、情報を要求する者の認証を行い、参照を適宜制限する措置をとることも可能とされている。

20      【0146】 ユーザ管理部110は、ユーザ登録等の情報を送受信する送受信部111と、ユーザ登録しユーザ登録情報を管理するユーザ登録部112と、ユーザ登録の際に当該登録したユーザに関するWebページ等の情報に関するチケットをチケット管理部105に対し登録要求するチケット登録部113と、ユーザ登録の際にユーザの個人情報109を更新する個人情報管理部114とを含んで構成されている。

25      【0147】 なお、後述の処理で用いられる個人情報109には、名前や住所、

趣味や嗜好、所有している物のリスト、手続きできる処理の種類、更には様々なサービス提供者へのアクセス履歴や利用履歴などの情報が含まれており、この個人情報 109 は、ユーザが端末 100 に保有してもよいし、ネットワーク内に Web ページ 121、122、123 のような形式で保有してもよいし、サービス提供者を紹介し手続きを仲介する手続き処理実施部 106 にあってもよい。なお、個人情報 109 は、図 15 のように複数箇所に分散して保有してもよい。ただし、その場合、複数箇所の個人情報 109 は同一の内容であり、個人情報の更新時には全ての個人情報 109 が、個人情報管理部 114 により同期をとって更新されるものとする。

【0148】 また、ID を付与された物 101 は、数字や文字の組合せでできたコードをバーコードや二次元バーコードや RF-ID や赤外タグなどで ID を付与された物（ビンや紙などの物理的な物体や音声ファイルやイメージファイルのような電子的な物体）により構成される。

【0149】 なお、上記の情報提供制御システムにて実行されるサービス提供に係る各種の処理やチケットの構造は、前述した第 1 実施形態（図 2 ～図 10 参照）と同様であるので、説明を省略する。

【0150】 [本発明をコミュニティに適用した場合の処理例の説明]

次に、図 16 ～図 20 を用いて、本発明をコミュニティに適用した場合の処理例を説明する。

【0151】 ここでは、チケット管理部 105 に、ペットフード（ID は 4901234petfood232）に関するチケットが 3 つ登録されており、ユーザ 100 を、ID として 4901234petfood232 が付与された物（ペットフード）101 を日常的に購入しているユーザとする。

【0152】 このユーザ 100 が、ID が 4901234petfood232 であるチケットのチケット要求をすると、前述のチケット検索処理により、図 16 A ～図 16 C の 3 つのチケットが検索結果として得られる。

【0153】 図16A～図16Cに示すように、3つ全てのチケットのID欄には4901234petfood232が記述されている。手続き処理実施部106は、これらのチケットからチケット種別、サービス種別を参照して、ユーザ100に適したサービスを提供するため、最適サービス提供先提示処理を実施する。

5 【0154】 この最適サービス提供先提示処理の一例を図21に示す。即ち、図21に示すように、まず、ID、サービス提供先提示要求、検索IDを受信し（S101）、IDをキーとして要求者の個人情報を個人情報109より取得するとともに、検索IDに対応するチケットを取得する（S102）。そして、当該要求者の個人情報とチケットのパーミッション情報とを照合する（S103）。この  
10 照合結果により、提示が許可されるチケットがあるか否かを判定し（S104）、提示が許可されるチケットがある場合は、当該チケットの情報を基にサービス提供先提示画面を作成し当該要求者に提示する（S105）。一方、提示が許可されるチケットが無い場合は、サービス提供先を提示できない旨を当該要求者に提示する（S106）。

15 【0155】 例えば、図17Aには、ペットフード愛好会が運営するコミュニティへの会員登録前のAさんの閲覧可能サービス提供先提示画面を示し、図17Bには、その時のAさんの個人情報を示す。Aさんはコミュニティに未登録であるため、図17Bのように、Aさんの個人情報においてpetfoodIDが記述されていない状態（petfoodID=NULL）である。このようなAさんが、あるペットフード  
20 の包装にpetfoodIDとしての4901234petfood232を見つけ、このpetfoodIDを検索IDとしてサービス提供先提示要求をした場合、上記の図21の処理により、IDが4901234petfood232である図16A～図16Cの3つのチケットが提示候補となる。

25 【0156】 しかし、Aさんの個人情報ではpetfoodID=NULLなので、この情報と図16A～図16Cのチケットそれぞれのパーミッション情報との照合により、結果的にAさんに提示されるサービス提供先情報は、図16Aのチケットに

係るページ（Object Comments よりペットフードに関する情報発信やペットフード友の会を開催しているページとわかる）のみとなる。即ち、図1・6 B、図1 6 Cのチケットではパーミッション情報がAさんの個人情報と不一致と判定されるため、ページの閲覧がAさんに許可されない。従って、Aさんに提示された閲覧可能なサービス提供先提示画面には、図1 7 Aのように、図1 6 Aのチケットに関する情報だけしか表示されないこととなる。なお、実際の情報へのアクセス時には、要求者に対し別途パスワードなどの認証手続きを行うので、かりに不正な手続き処理実施部1 0 6が、許可を得ていないユーザに対しサービス提供先情報を提示する動作をしても、当該許可を得ていないユーザには実際の情報は提示されない。

【0 1 5 7】 ここで、図1 8を用いて、コミュニティの運営を行っているユーザ管理部1 1 0におけるユーザ登録処理の流れを説明する。ユーザ管理部1 1 0は、ユーザ（例えば、Aさん）1 0 0からのユーザ登録要求を送受信部1 1 1により受信すると（S 9 1）、ユーザ登録部1 1 2により所定のユーザ情報の送信要求をユーザ1 0 0に送信する（S 9 2）。そして、ユーザ1 0 0からのユーザ情報を送受信部1 1 1により受信すると（S 9 3）、ユーザ登録部1 1 2により、受信されたユーザ情報を登録する処理を行う（S 9 4）。

【0 1 5 8】 このユーザ登録処理を終えると、チケット登録部1 1 3が、ユーザ1 0 0をコミュニティ形成に参加させるためのユーザ1 0 0の情報発信に関するチケットを登録するべく、チケット管理部1 0 5に対しチケット登録要求を行う（S 9 5）。これにより、ユーザ1 0 0による情報発信のためのページのアドレス等が1つのチケットとしてチケット管理部1 0 5に登録されることとなり、上記のチケット検索処理等によって、ユーザ1 0 0のページが、コミュニティを形成している他のユーザにより閲覧可能となる。

【0 1 5 9】 例えば、ユーザ1 0 0がAさんの場合、図1 9に示すようなチケットがチケット管理部1 0 5に登録される。ここで、図1 9のチケットのパーミ

ッション情報には、ペットフード愛好会が運営するコミュニティへの会員に共通の情報である「petfoodID=4901234petfood232」が設定されているため、当該コミュニティの他のユーザは、図19のチケットのパーミッション情報によりAさんのページの閲覧が許可されることとなる。

5      【0160】 次に、個人情報管理部114は、個人情報109内のユーザ100の個人情報において、コミュニティの会員である旨を示すIDを付与するよう更新処理を行う（S96）。これにより、ユーザ100は、このIDにより、他のコミュニティを形成する参加者の情報発信を閲覧することが可能になる。このように個人情報109内の個人情報は、個人情報管理部114により更新可能とされている。但し、更新時に個人情報管理部114は、更新対象のユーザ100や手続き処理実施部106から更新許可を受けたことを条件として更新を行うものとする。

15      【0161】 例えば、図20Bには、登録後におけるAさんの個人情報の例を示す。この図20Bのように、Aさんはコミュニティにユーザ登録したことで、Aさんの個人情報として、petfoodID=4901234petfood232が自動的に追加される。

20      【0162】 この状態でAさんが、4901234petfood232を検索IDとしてサービス提供先提示要求すると、上記の図21の処理により、IDが4901234petfood232である図16A～図16Cの3つのチケットが提示候補となるが、上記更新により、Aさんの個人情報として petfoodID=4901234petfood232が登録されているため、図16B、図16Cのチケットではパーミッション情報がAさんの個人情報と一致することとなり、これらチケットに対応したBさんのページ及びCさんのページの閲覧がAさんに許可されることとなる。従って、会員登録後のAさんに提示された閲覧可能なサービス提供先提示画面には、図20Aのように、図16Aのチケットに関する情報（ペットフードのWebページ）とともに、図16B、図16Cのチケットに対応したBさん及びCさんの各ページのリンク情報が表示（各ページへのリンクが形成）される。

【0163】 このように第2実施形態によれば、ユーザにとってはコミュニティにユーザ登録することで、チケット登録処理（図18のS95）及び個人情報更新処理（S96）が自動的に実行され、分散した複数のサーバによる情報発信型のコミュニティに参加することができる。また、コミュニティの形成が容易となり、リンク情報や提携関係を構築する雑な手間なく情報発信ページを相互接続することが可能となる。

【0164】 なお、本発明は、コミュニティの運営以外にも、一般的な情報提供の制御に対して適用可能であり、コミュニティへの適用に限定されるものではない。

【0165】 また、本発明では、あるチケットの検索から新たなチケットの検索へ処理を展開していく際に、最初のチケットに含まれた「新たなID（新たなチケットに対応するID）」をキーとして処理を展開してもよいし、「ID」に限定されることなく最初のチケットに含まれた「様々な情報」に基づいて「新たなID」を導出し、当該「新たなID」をキーとして、新たなチケットの検索へ処理を展開してもよい。

【0166】 以上説明したように、本発明によれば、サービス提供者（又は情報提供者）とユーザの双方にとって、多くのサービス提供者（又は情報提供者）と連携させるために用意するリンク情報や連携関係を構築する手間を削減するとともに、ユーザに合ったタイムリーなサービス提供や情報提供を実現することができる。



クレーム：

1. サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、

5 商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、

ユーザにより要求されたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御手段と、  
10 、

前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読出し手段と、

前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得手段と、  
15

前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御手段と、  
20

を備え、

前記チケットは、前記商品に関する情報又は前記サービスに関する情報として、前記コードとは異なるコードを導出するための情報を含むことが可能とされ、

前記検索制御手段は、前記検索により得られたチケットの中から得られる情報  
25 に基づく異なるコードの導出及び当該異なるコードに対応したチケットの検索を、前記チケット格納管理手段にさらに実行させる、

ことを特徴とするサービス提供システム。

2. ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、

ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報  
5 に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、

をさらに備え、

前記提示制御手段は、

前記要求受付手段による受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応した  
ユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報及び前記サ  
10 ービス提供内容情報に基づいてサービス提供者を選択し、選択したサービス提供  
者に関するサービス提供内容情報及びアクセス方法情報を前記ユーザへ提示する  
、

ことを特徴とするクレーム第1項に記載のサービス提供システム。

3. 前記提示制御手段は、

15 前記商品に関する情報又は前記サービスに関する情報に含まれたキーワードを  
検索キーとして検索エンジンでの検索を行い、検索により得られたリンク情報を  
前記ユーザへ提示する、

ことを特徴とするクレーム第1項に記載のサービス提供システム。

4. サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイ  
20 ルと、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービ  
ス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに  
、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は  
一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、を備えたサービス  
提供システムにて実行されるサービス提供方法であって、

25 ユーザにより要求されたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対  
応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御工程と

、  
前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読み出し工程と、

- 5 前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得工程と、

- 10 前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御工程とを有し、

前記チケットは、前記商品に関する情報又は当該商品に関連するサービスに関する情報として、前記コードとは異なるコードを導出するための情報を含むことが可能とされ、

- 15 前記検索制御工程では、

検索により得られたチケットの中から得られる情報に基づく異なるコードの導出及び当該異なるコードに対応したチケットの検索を、前記チケット格納管理手段にさらに実行させる、

ことを特徴とするサービス提供方法。

- 20 5. 前記サービス提供システムが、ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、ユーザの嗜好情報及びサービス利用情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段とをさらに備え、

前記提示制御工程では、

- 25 前記要求受付手段による受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、

当該ユーザ情報及び前記サービス提供内容情報に基づいてサービス提供者を選択し、

選択したサービス提供者に関するサービス提供内容情報及びアクセス方法情報を前記ユーザへ提示する、

5        ことを特徴とするクレーム第4項に記載のサービス提供方法。

6.     前記提示制御工程では、

前記商品に関する情報又は前記サービスに関する情報に含まれたキーワードを検索キーとして検索エンジンでの検索を行い、

検索により得られたリンク情報を前記ユーザへ提示する、

10      ことを特徴とするクレーム第4項に記載のサービス提供方法。

7.     サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、

商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、

ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付手段と、

20      ユーザの嗜好情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、

前記要求受付手段による受け付けにより得られたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御手段と、

25      前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読み出し手段と、

前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得手段と、

- 5       前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御手段と、

を備え、

- 10       前記チケットは、当該チケットに含まれた情報の提示が許可されるユーザの条件を表す許可条件情報を含み、

前記提示制御手段は、

- 15       前記受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報と前記チケットに含まれた許可条件情報とに基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示を許可するか否かを判断し、提示を許可する場合に当該ユーザへの提示を行う、

ことを特徴とする情報提供制御システム。

8.   コミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段と、

- 20       前記サービス提供者となり当該ユーザのアクセス先アドレスの情報提供を希望する前記登録されたユーザからの、当該ユーザのユーザ情報に関連する商品に付与されたコードと当該ユーザのアクセス先アドレスとを含むチケットの登録要求を受け付け、前記チケット格納管理手段に当該チケットの登録を要求するチケット登録要求手段と、

をさらに備え、

- 25       前記チケット格納管理手段は、

前記チケットの登録要求に基づいて、前記コードと前記アクセス先アドレスと

を含む新たなチケットを登録する、

ことを特徴とするクレーム第7項に記載の情報提供制御システム。

9. コミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段と、

5 前記登録されたユーザからの当該ユーザのユーザ情報に関連する商品に関するチケットの情報提示要求を受け付け、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されるように、当該ユーザのユーザ情報が当該チケットに関する許可条件情報に対応するよう前記ユーザ情報記憶手段に記憶された当該ユーザのユーザ情報を更新するユーザ情報管理手段と、

10 をさらに備えたクレーム第7項に記載の情報提供制御システム。

10. サービスに接続するためのアクセス方法情報が格納された手続きファイルと、商品に付与されたコード、当該商品に関連したサービスを提供するサービス提供者のアクセス先アドレス、及び前記手続きファイルの格納先情報、並びに、前記商品に関する情報と前記商品に関連するサービスに関する情報の両方又は一方を含むチケットを格納管理するチケット格納管理手段と、ユーザの嗜好情報を含むユーザ情報をユーザの識別情報に対応づけて記憶したユーザ情報記憶手段と、を備えた情報提供制御システムにて実行される情報提供制御方法であって、

20 ユーザにより要求されたコード及びチケット要求を、当該ユーザの識別情報とともに受け付ける要求受付工程と、

前記受け付けにより得られたコード及びチケット要求に基づいて、前記コードに対応したチケットの検索を前記チケット格納管理手段に実行させる検索制御工程と、

25 前記検索により得られたチケットに含まれた手続きファイルの格納先情報を読み出し、当該格納先情報に基づいて前記手続きファイルからアクセス方法情報を読み出すアクセス方法情報読出し工程と、

前記検索により得られたチケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスを読み出し、当該サービス提供者のアクセス先アドレスに基づいてサービス提供者へサービス提供内容情報を要求し、当該サービスに関する手続きファイルに格納されたアクセス方法に従って獲得するサービス情報獲得工程と、

- 5       前記チケットに含まれた前記商品に関する情報、前記サービスに関する情報、読み出されたアクセス方法情報、及び獲得されたサービス提供内容情報をユーザへ提示する提示制御工程とを有し、

前記チケットは、当該チケットに含まれた情報の提示が許可されるユーザの条件を表す許可条件情報を含み、

- 10       前記提示制御工程では、

前記受け付けにより得られたユーザの識別情報に対応したユーザ情報を前記ユーザ情報記憶手段から読み出し、当該ユーザ情報と前記チケットに含まれた許可条件情報とに基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示を許可するか否かを判断し、提示を許可する場合に当該ユーザへの提示を行う、

- 15       ことを特徴とする情報提供制御方法。

1 1.   前記情報提供制御システムが、コミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段をさらに備え、

- 20       前記サービス提供者となり当該ユーザのアクセス先アドレスの情報提供を希望する前記登録されたユーザからの、当該ユーザのユーザ情報に関連する商品に付与されたコードと当該ユーザのアクセス先アドレスとを含むチケットの登録要求に基づいて、前記チケット格納管理手段に当該チケットの登録を要求する登録要求工程と、

- 25       前記チケット格納管理手段により、前記チケットの登録要求に基づいて、前記コードと前記アクセス先アドレスとを含む新たなチケットを登録するチケット登録工程と、

をさらに有することを特徴とするクレーム第10項に記載の情報提供制御方法

。

12. 前記情報提供制御システムが、コミュニティに属するユーザの所定の登録情報を保管管理し、ユーザからの登録要求に応じて当該ユーザの登録情報を登録するユーザ登録手段をさらに備え、

前記登録されたユーザからの、当該ユーザのユーザ情報に関連する商品に関するチケットの情報提示要求に基づいて、当該チケットに含まれた情報の当該ユーザへの提示が許可されるように、当該ユーザのユーザ情報が当該チケットに関する許可条件情報に対応するよう前記ユーザ情報記憶手段に記憶された当該ユーザのユーザ情報を更新するユーザ情報更新工程をさらに有することを特徴とするクレーム第10項に記載の情報提供制御方法。



### 開示内容の要約

- サービス提供者（又は情報提供者）とユーザの双方にとって、多くのサービス提供者（又は情報提供者）と連携させるために用意するリンク情報や連携関係を構築する手間を削減するとともに、ユーザに合ったタイムリーなサービス提供や
- 5 情報提供を実現することを目的とする。ユーザが、所望の I D（コード）に対応したチケットに含まれた商品に関する情報、サービスに関する情報、当該チケットに含まれた手続きファイルの格納先情報に基づき読み出されたアクセス方法情報、及び当該チケットに含まれたサービス提供者のアクセス先アドレスに基づき獲得されたサービス提供内容情報を得ることができるシステムにおいて、チケットが、
- 10 I Dとは異なる I Dを導出するための情報を含むことが可能とされ、ユーザが要求した I Dに対応したチケットの中から得られる情報に基づいて異なる I Dを導出し、当該異なる I Dを新たな検索キーとして、チケットの検索を繰り返す行う。